



屋久島

世界自然遺産登録 20周年記念シンポジウム in 東京

日本で初めて世界自然遺産に登録されて20年。地域振興に大きな影響を与えた一方で、山岳部での利用集中に伴う様々な課題が残されている。登録20周年を契機として、島内外の有識者が一同に会し、屋久島のあるべき姿について展望する。

入場無料

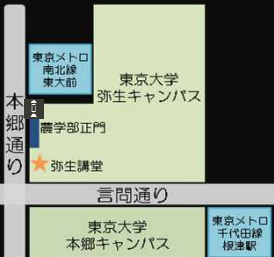
※申込詳細は裏面をご覧ください。

日時：平成25年10月20日(日)

13:30～16:30(開場12:30)

会場：東京大学農学部 弥生講堂

撮影：内室二郎



- 地下鉄
東京メトロ 南北線「東大前」1番出口から徒歩1分
東京メトロ 千代田線「根津」1番出口から徒歩8分

- 都バス
御茶ノ水駅より
茶51駒込駅南口又は
東43荒川土手操車所前行き
「東大農学部前」下車徒歩1分

主催：環境省九州地方環境事務所
共催：林野庁九州森林管理局
屋久島世界自然遺産20周年記念事業実行委員会
(鹿児島県、屋久島町、屋久島環境文化財団)

プログラム

●第Ⅰ部 基調報告（13：30～）

- ・屋久島世界遺産20周年の歩み ～遺産登録の効果と残された課題～
環境省 屋久島自然保護官事務所 自然保護官 加藤 倫之
- ・屋久島・岳参りの復活
宮之浦岳参り伝承会 中川 正二郎
- ・世界遺産登録後の屋久島の利用動向
国立歴史民俗博物館 准教授 柴崎 茂光

●第Ⅱ部 パネルディスカッション（15：00～）

『島外からみた世界遺産の島“屋久島”への期待』

【コーディネーター】

東京農工大学大学院 教授

土屋 俊幸

【パネリスト】

屋久島町長

荒木 耕治

宮之浦岳参り伝承会

中川 正二郎

公益財団法人 日本交通公社 理事

寺崎 竜雄

国立歴史民俗博物館 准教授

柴崎 茂光

離島経済新聞社 代表

鯨本 あつこ

山と溪谷社 Yamakei Online部

神谷 有二



撮影者)上:ウィルソン株内部(内室二郎)、下左より:ヤクシマジャクナゲ(内室二郎)・太忠岳山頂下祠(太田五雄)・ウィルソン株(内室二郎)・小杉谷橋(内室二郎)

お申し込み方法

お申し込みの方は、E-mail又は、下記「申込票」にご記入の上、FAX又は郵送にてお申し込みください。

お申し込み期限

平成25年10月15日(火)

お申し込み・お問い合わせ先

〒102-0085 東京都千代田区六番町7番地

E-mail: sato-r@jafta.or.jp FAX: 03-3261-3840

一般社団法人 日本森林技術協会

担当: 森林保全グループ 篠原・佐藤



申込票

団体名(団体の方のみ)			
申込代表者のお名前	申込人数	計 人	
ご住所	お電話番号		
講演のうち関心のあるテーマやことごとらについて、ご記入ください。			

※FAXをご利用の方は、切り取らずに申込票の面を送信ください。

※上記情報は、屋久島世界自然遺産登録20周年記念シンポジウムに関する以外には使用しません。